

東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画認可変更申請対応について

令和3年7月8日
再処理廃止措置技術開発センター

○ 令和3年7月8日 面談の論点

- 資料1 再処理施設の廃止措置計画(安全対策)の変更に伴う保安規定の変更について
- 資料2 東海再処理施設の保全区域の変更に伴う保安規定及び廃止措置計画の変更について
- 資料3 ガラス固化技術開発施設(TVF)における2次冷却水配管のエア抜き配管の補修等について

- その他

以 上

再処理施設の廃止措置計画（安全対策）の変更に伴う保安規定の変更について

令和 3 年 7 月 8 日

再処理廃止措置技術開発センター

1.はじめに

再処理施設の安全対策の基本設計については、令和 2 年 5 月 29 日、令和 2 年 8 月 7 日、令和 2 年 10 月 30 日、令和 3 年 2 月 10 日及び令和 3 年 6 月 29 日における廃止措置計画変更認可申請をもって申請を完了した。

今後、これらの廃止措置計画で示した安全対策に基づいて再処理施設の保安活動を展開するために、2.に示す項目についての保安規定の変更申請を順次行う計画である。

2.保安規定等の変更を行う項目と申請時期

変更する項目の詳細については、別表に示すように廃止措置計画変更認可申請書に記載した安全対策について、保安規定に反映すべき事項に抜け落ちがないように整理しているところである。

変更申請時期については、安全対策に係る施設及び設備、体制の整備状況やガラス固化処理の運転計画などを考慮して項目ごとに判断するものの、体制の整備、工事の完了あるいは可搬型設備の新規配備を待たずに運用を開始できる事項については、概ね令和 3 年 12 月末頃までに変更申請を行い、速やかな運用を目指す。

以上

別表 安全対策の申請において運用により安全性を担保するとした事項のリスト（整理中）

ID. / 対策	対象施設	保安規定・下位文書等において規定する事項
F01	内部 火災	HAW、TVF 【申請書：別添 6-1-1-6】 ・ 火災防護計画の策定。 - 少量危険物及び可燃性物質の持ち込み制限及び保管管理（鋼製キャビネット等での保管） - 追加設置する火災報知器の発報時の対処。 - 火災報知機の代替として運用する ITV カメラ及びセル内雰囲気温度計による監視体制。 - 初期消火活動の確実性向上のための、消火用資機材の充実、配備場所の確保（耐火隔離含む）及び訓練の拡充。 - 代替策及び事故対処に用いる可搬型設備及び資機材（予備ケーブル等）の配備場所（耐火隔離含む）の確保。 - 今後の施設内改造等における火災防護要求（使用する難燃材・難燃ケーブル・保温材等のグレード要求等）。
F02	内部 火災	TVF 【申請書：別添 6-1-1-6】 ・ TVF 固化セル内での両腕型マニピュレータ（BSM）を用いた遠隔消火操作の対応。 - 資機材の確保及び管理の方法。 - 消火操作手順及び訓練計画。
F03	内部 火災	HAW、TVF 【申請書：添付書類 6-1-1-6-3】 ・ 初期消火失敗時に複数系統電源ケーブルの機能が喪失した場合の、予備ケーブルを用いた代替策の整備。 - 代替策の手順及び訓練計画 - 資機材の管理の方法
F04	内部 火災	HAW、TVF 【申請書：添付書類六】 ・ 性能維持施設とする火災防護設備の保全、検査の方法。 （※ 対象設備の詳細は設工認時に設定）
E01	地震	HAW、TVF 【申請書：別紙 6-1-2-2-1-1、添付資料 6-1-2-4-1】 ・ 高放射性廃液貯槽等の耐震裕度向上のための液量管理の方法（管理値、運転手順、計装、管理値を一時的に超過した場合の対応等） 《申請済：令和 2 年 12 月 18 日（令 02 原機（再）062）》
T01	津波	HAW、TVF 【申請書：添付資料 6-1-3-1-1、添付資料 6-1-3-1-2】 ・ 漂流物防護柵設置範囲内において漂流物となりうる車両、資機材、構築物の管理。（設置の可否の判断および許可、設置時の措置等）
T02	津波	HAW、TVF 【申請書：添付資料 6-1-3-2-1、添付資料 6-1-3-3-1】 ・ 建家内に浸水があった場合の排水の処置。
T03	津波	HAW、TVF 【申請書：添付資料 6-1-3-3-1、添四別紙 1-1-36】 ・ 大津波警報発令時の浸水防止扉の閉状況確認。 - 確認手順及び訓練計画。
T04	津波	TVF 【申請書：別添 6-1-3-1】 ・ 大津波警報発令時の浸水防止扉（片開き扉）の閉止対応。 - 閉操作手順及び訓練計画。
T05	津波	TVF 【申請書：添付資料 6-1-3-3-1、別紙 6-1-3-3-1-2】 ・ ガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟と T20 トレンチの接続箇所の建家外壁を貫通している飲料水配管からの浸水防止に係るバルブ操作の対応。
T06	津波	HAW、TVF 【申請書：添付資料 6-1-3-2-2、別紙 6-1-3-2-2-1、別紙 6-1-10-1-3-1、添四別紙 1-1-36、別冊 1-32】 ・ 制御室における津波の状況監視。 - 代替措置を含めた監視の手順及び訓練計画。 - 資機材の確保及び管理の方法。

ID. / 対策		対象施設	保安規定・下位文書等において規定する事項
T07	津波	HAW、TVF	【申請書：添付書類六、別冊 1-24、別冊 1-27】 ・性能維持施設とする漂流物防護柵等の保全、検査の方法。
V01	火山事象	HAW、TVF	【申請書：別添 6-1-4-6】 ・HAW、TVF の屋上スラブ、屋上設備及び給気口を降下火砕物の影響から防護するための対処。 - 降下火砕物除去に使用する資機材の確保及び管理の方法。 - 給気口に設置するフィルタの配備及び管理の方法。 - 降灰が確認された場合の火山非常態勢及び監視強化、除去等の対応手順及び訓練計画。
V02	火山事象	その他施設	【申請書：添付資料 6-1-3-4-8】 ・除灰の優先度、除灰の対応 ・降下火砕物の除去に使用する資機材（シャベル、箒、エアダスター、除灰ポリ袋、ゴーグル、防塵マスク等）の配備
H01	竜巻	HAW、TVF	【申請書：別添 6-1-4-1】 ・竜巻影響範囲において飛来物となりうる車両、資機材、構築物の管理。（設置の可否の判断および許可、設置時の措置等）
H02	竜巻	HAW、TVF	【申請書：別添 6-1-4-1、別紙参考 6-1-4-4-5-2、添四別紙 1-1-37】 ・HAW、TVF の屋上に設置されている重要な安全機能を担う設備が竜巻飛来物の衝突により損傷した場合に備えた対処。 - 予備品、補修資機材等の確保及び管理の方法。 - 損傷した場合の補修手順及び訓練計画。
H03	竜巻	HAW、TVF	【申請書：添付書類六、別冊 1-19、別冊 1-30】 ・性能維持施設とする防護板等の日常管理（扉の開閉確認）、保全、検査の方法
H04	竜巻	その他施設	【申請書：添付資料 6-1-3-4-7】 ・外壁等の貫通部の補修、養生に使用する資材の配備 ・事象発生時の対応
W01	外部火災	HAW、TVF	【申請書：別紙 6-1-4-8-4-1、別紙 6-1-4-8-6-1、別紙 6-1-4-8-6-2、別冊 1-31、添四別紙 1-1-37】 ・防火帯の維持管理の方法、消防隊による森林火災発生時の対応及び訓練計画。
W02	外部火災	HAW、TVF	【申請書：別紙 6-1-4-8-4-1、別紙 6-1-4-8-6-1、別紙 6-1-4-8-6-2】 ・HAW、TVF、防火帯周辺に可燃物を設置する場合の管理。（設置の可否の判断および許可、設置時の措置等）
W03	外部火災	HAW、TVF	【申請書：別紙 6-1-4-9-5】 ・核サ研敷地内に入所してくる燃料輸送車両の防火管理。（監視人の立会いと、初期消火・連絡体制）
W04	外部火災	HAW、TVF	【申請書：－】 ・外部火災の評価条件（敷地外の条件）の変化に対する確認。 - 森林火災：植生等の変化 - 石油コンビナート等の火災爆発：工場等立地状況の変化 - 航空機墜落：航空機運行状況の変化
W05	外部火災	その他施設	【申請書：添付資料 6-1-3-4-9】 ・草木の管理（施設と森林間の離隔距離の確保）
O01	溢水	HAW	【申請書：別添 6-1-6-1】 ・使用する用途のない HAW 空調系蒸気配管の閉止。 ※ バルブ等による閉止処置であればバルブの施錠管理等が必要となるが、切断－溶接プラグ止め等の誤操作のおそれのない場合は対応不要
O02	溢水	HAW、TVF	【申請書：別添 6-1-6-1】 ・漏えい検知時の給水等の停止操作の対応。（HAW の R008、TVF の A013（A011 の隣接）、R103、W362、G145（G142 に隣接）、W360（A311 に隣接））

ID. / 対策		対象施設	保安規定・下位文書等において規定する事項
O03	溢水	TVF	【申請書：別添 6-1-6-1】 ・地下スラブへ排水された溢水の後処理に関する対応手順。 - 分析等による確認と、排出先の受入手順等。
O04	溢水	TVF	【申請書：補足説明資料 8】 ・配管分岐室（A024、A025）における蒸気配管漏えい発生時の対応手順。 - 事象発生の検知手順（室内温度計・蒸気供給系統圧力計の運用を含む）と検知時の対応手順 - 資機材等の確保及び管理の方法 - 手順書の整備及び訓練計画
O05	溢水	HAW、TVF	【申請書：添付書類六】 ・性能維持施設とする溢水対策設備の保全、検査の方法。 (※ 対象設備の詳細は設工認時に設定。被水板や堰は対象外と考えられる。蒸気遮断弁や配管分岐室の温度警報などの動的設備、警報／インターロックに関わる計装は対象になり得る。)
O06	溢水	HAW、TVF	【申請書：別添 6-1-6-1】 ・施設外からの供給が継続する浄水、純水等について溢水量を制限するために漏えい箇所近傍の仕切弁を閉止する操作。
C01	制御室	HAW (MP)、TVF	【申請書：別紙 6-1-10-1-3-2、添四別紙 1-1-37、別冊 1-17】 ・有毒ガス防護のための外気の流入防止措置等に係る手順の整備。 - 制御室の外気からの隔離の手順及び訓練計画。 - 資機材（酸素呼吸器、有毒ガス検知器等含む）の管理の方法。
C02	制御室	TVF	【申請書：別紙 6-1-10-1-3-3】 ・今後新たな化学物質等を使用する場合の管理。（取扱の可否の判断および許可、取扱時の措置等）
C03	制御室	TVF	【申請書：添付書類六、別冊 1-17、別冊 1-32】 ・性能維持施設とする可搬型設備、制御室パラメータ監視・屋外監視システムの日常管理、保全、検査の方法。
C04	制御室	HAW、TVF	【申請書：添付資料 6-1-10-1-3】 ・事故時の制御室機能の集約に係る対応手順。 - MP 制御室機能の扱い、駐在者の採るべき措置等の規定。
A01	事故対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1】 ・事故の選定結果（蒸発乾固）と事故対処についての非常の場合に採るべき処置への反映。
A02	事故対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1-31】 ・事故発生後 6 日間後までに、再処理施設の事故収束対応を維持するための支援を受けられる体制・支援計画を定める。
A03	事故対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1（表 1-2-2-3、表 1-2-2-4）】 ・今後配備する設備及び事故対処設備の配備後における実効性の検証の計画及びその結果に基づく事故対処手順等の改正。 - 可搬型貯水設備 - 地下式貯油槽 - 可搬型チラー、可搬型冷却設備 - 接続端子盤等の給電設備
A04	事故対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1-32】 ・可搬型計装設備を用いた測定手順の整備。
A05	事故対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1-33】 ・可搬型監視測定設備を用いた測定手順の整備。

ID. / 対策		対象施設	保安規定・下位文書等において規定する事項
A06	事故 対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1 (1.4 まとめ)、添四別紙 1-1-2～25】 ・事故対処の継続的な訓練による習熟。 - 事故対処資機材の操作マニュアル整備と日常点検等を通じた操作習熟 - 施設設備の状況変化に応じた訓練 - 夜間、悪天候等の厳しい環境条件を想定した訓練
A07	事故 対処	HAW、TVF	【申請書：添付書類六、添四別紙 1-1-39】 ・性能維持施設とする可搬型事故対処設備（計装、監視測定設備を含む）の日常管理、 保全、検査の方法。（固縛対策等の管理を含む。）
A08	事故 対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1 (2.5 及び 2.6)、添四別紙 1-1-41】 ・地震・津波以外のその他事象（ガラス固化体保管ピットの強制換気、大型航空機の衝突等により大規模な火災が発生した場合の消火活動等）への対応の整備 - 資機材等の確保及び管理の方法 - 手順書の整備及び訓練計画
A09	事故 対処	HAW、TVF	【申請書：添四別紙 1-1-2～25】 ・事故対処の体制整備 - 現場対応班の体制整備（南東地区移動時） - 事故対処要員の招集体制及び招集手順 - 事故対処要員の力量の確保及び訓練計画
A10	事故 対処	HAW	【申請書：添四別紙 1-1-12】 ・予備貯槽（272V36）に遅延対策のための水を貯留することについての変更及び管理の方法。
A11	事故 対処	TVF	【申請書：添四別紙 1-1-23】 ・純水貯槽（G85V20）に遅延対策のための水を貯留することについての変更及び管理の方法。
A12	事故 対処	TVF	【申請書：添四別紙 1-1-36】 ・全電源喪失時に TVF の濃縮操作を停止する操作についての変更及び停止操作に用いる希积水（洗浄液調整槽または純水貯槽に確保）の管理の方法。
A13	事故 対処	HAW、TVF	【申請書：別冊 1-26】 ・事故対処設備の保管場所の整備のために、再処理施設保全区域の南側を変更。
S01	性能 維持 施設	—	【申請書：添六別紙 1】 ・新たに性能維持施設として追加した安全対策設備を施設の管理（定期事業者検査の項目等）に関わる規定に反映。

対象施設：その他施設も含む。漂流物防護柵、防火帯、事故対処設備は HAW・TVF 関連とする。

規定すべき事項における【】内の記載：申請書における記載該場所を示す。

東海再処理施設の保全区域の変更に伴う保安規定及び廃止措置計画の変更について

令和 3 年 7 月 8 日
再処理廃止措置技術開発センター

1. 概要

再処理廃止措置技術開発センターでは、事故対処設備配備場所の地盤補強工事の準備を進めている。本工事における地盤補強場所には再処理施設の保全区域のフェンスが設置されており、当該箇所の地盤補強にあたり（令和 3 年 12 月当該箇所工事開始予定）、保全区域のフェンスを撤去する必要がある。このため、現在の保全区域のフェンスの外側にある再処理施設の既設フェンスに保全区域境界を移動する（別添 1 参照）。なお、保全区域境界の移動に伴う保安管理上の変更はない。

本件は、保全区域境界の変更に伴い、保安規定に示す保全区域に係る関連図について変更を行うものである。

2. 保安規定等の保全区域の記載内容（別添 2 参照）

(1) 保安規定

- ・ 第Ⅱ-2 図 周辺監視区域（第 76 条関係）
- ・ 第Ⅱ-3 図 保全区域（第 77 条関係）

(2) 廃止措置計画（参考）

- ・ 図 3-1 再処理施設の敷地及び廃止措置対象施設の配置
- ・ 図 4-1 廃止措置終了後の再処理施設の配置図（全施設管理区域を解除）

(3) 事業指定申請書（参考）

- ・ 第 1. 1-1 図 核燃料サイクル工学研究所配置図
- ・ 第 1. 1-2 図 再処理施設配置図

3. 許認可上の取扱い

- ・ 保安規定については、速やかに変更申請に向けた準備及び手続きを進める。
- ・ 廃止措置計画については、変更申請の時期及び方法について調整させていただきたい。

以上

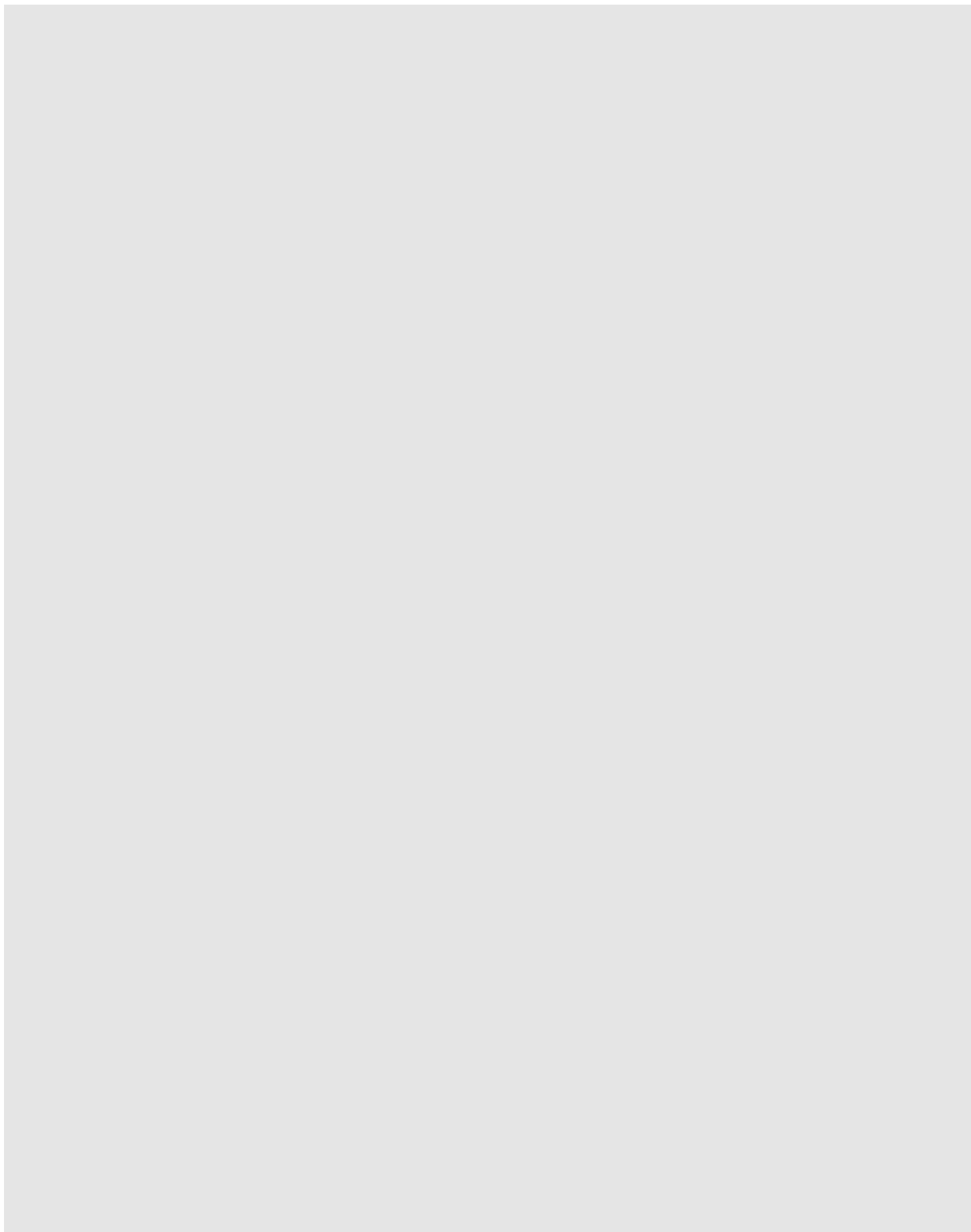
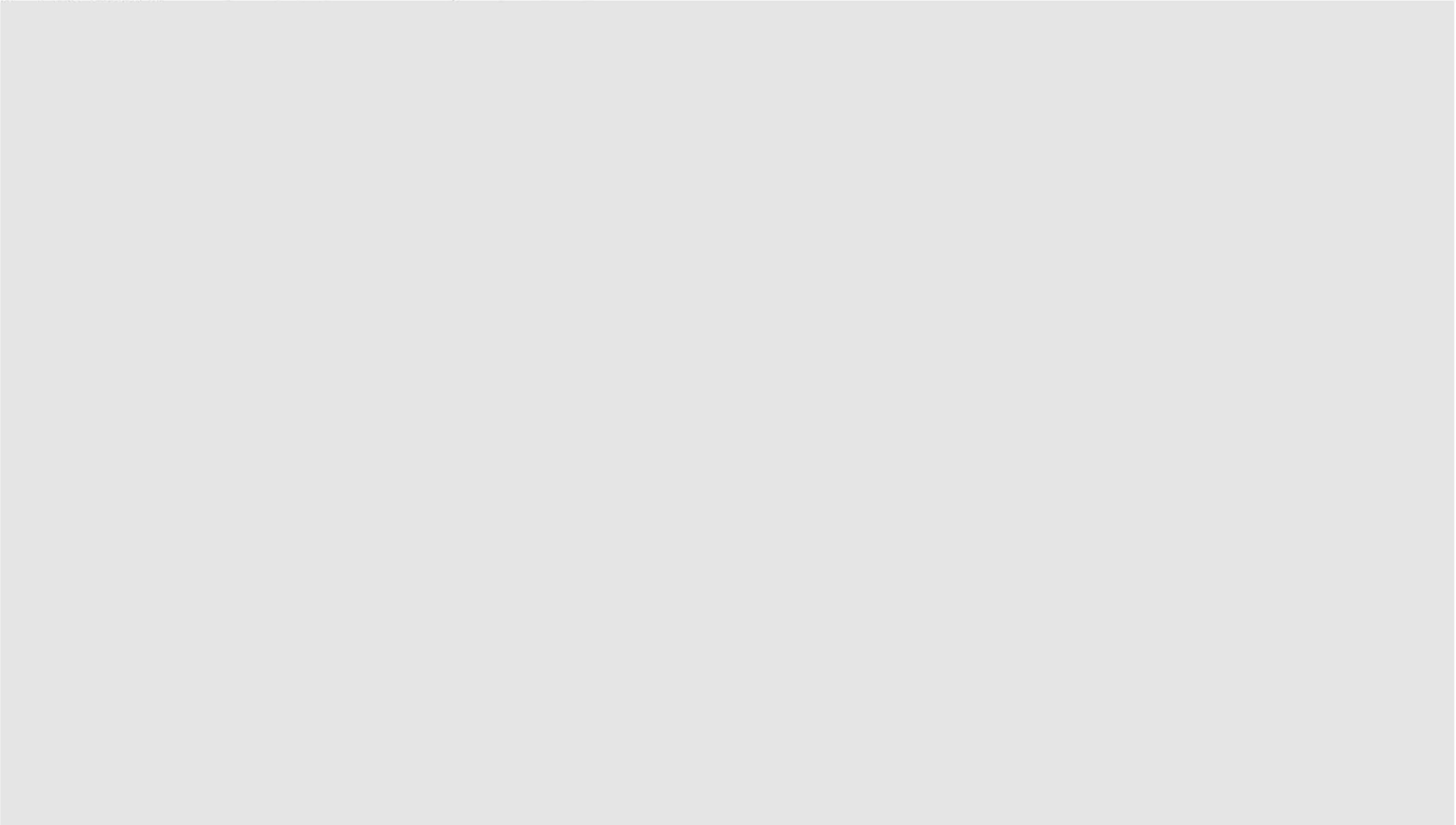


図 変更前後における再処理施設の保全区域境界

(1) 保安規定



第Ⅱ-2図 周辺監視区域(第76条関係)

第Ⅱ-3図 保全区域(第77条関係)

(2) 廃止措置計画

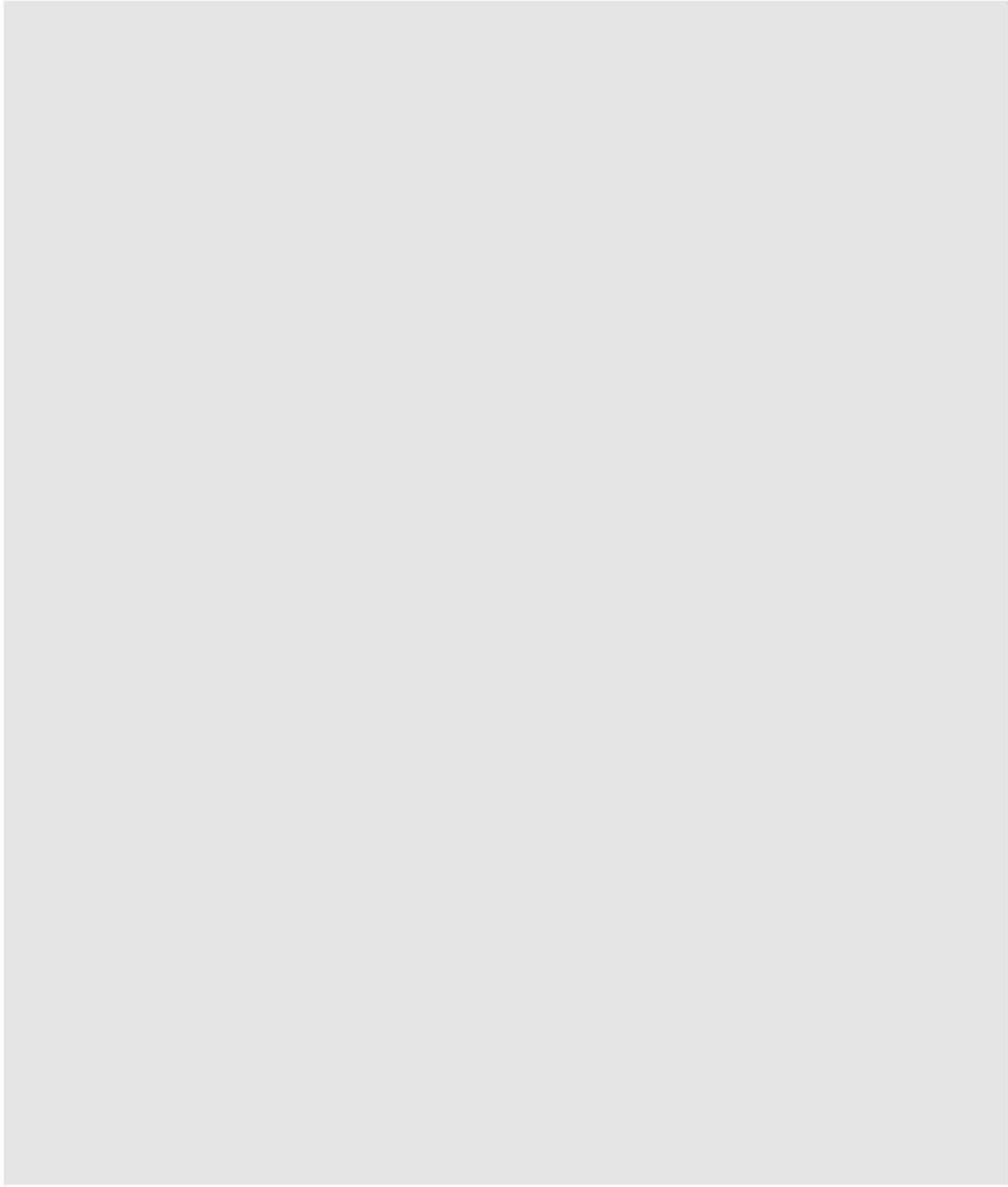


図 3-1 再処理施設の敷地及び廃止措置対象施設の配置

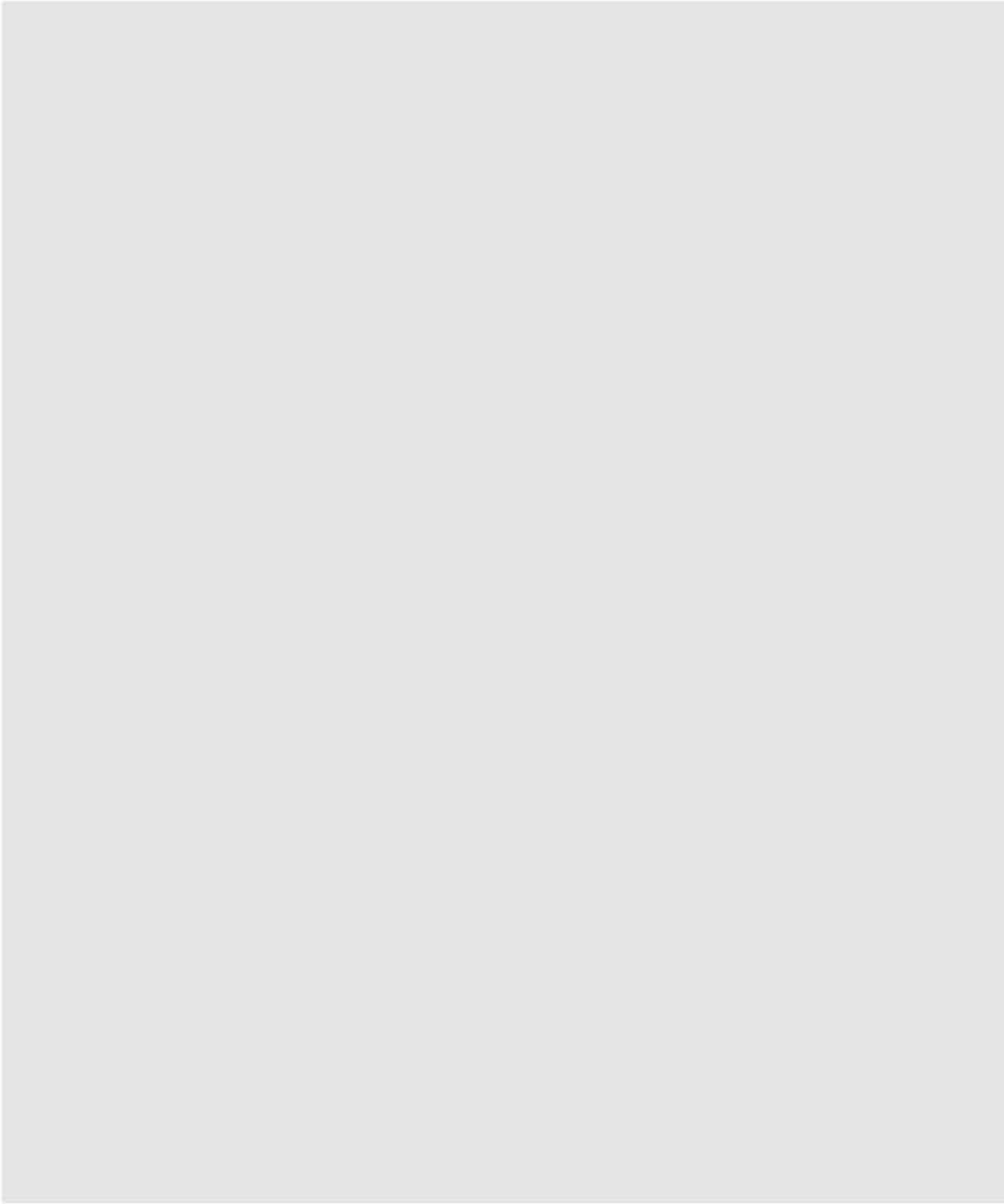
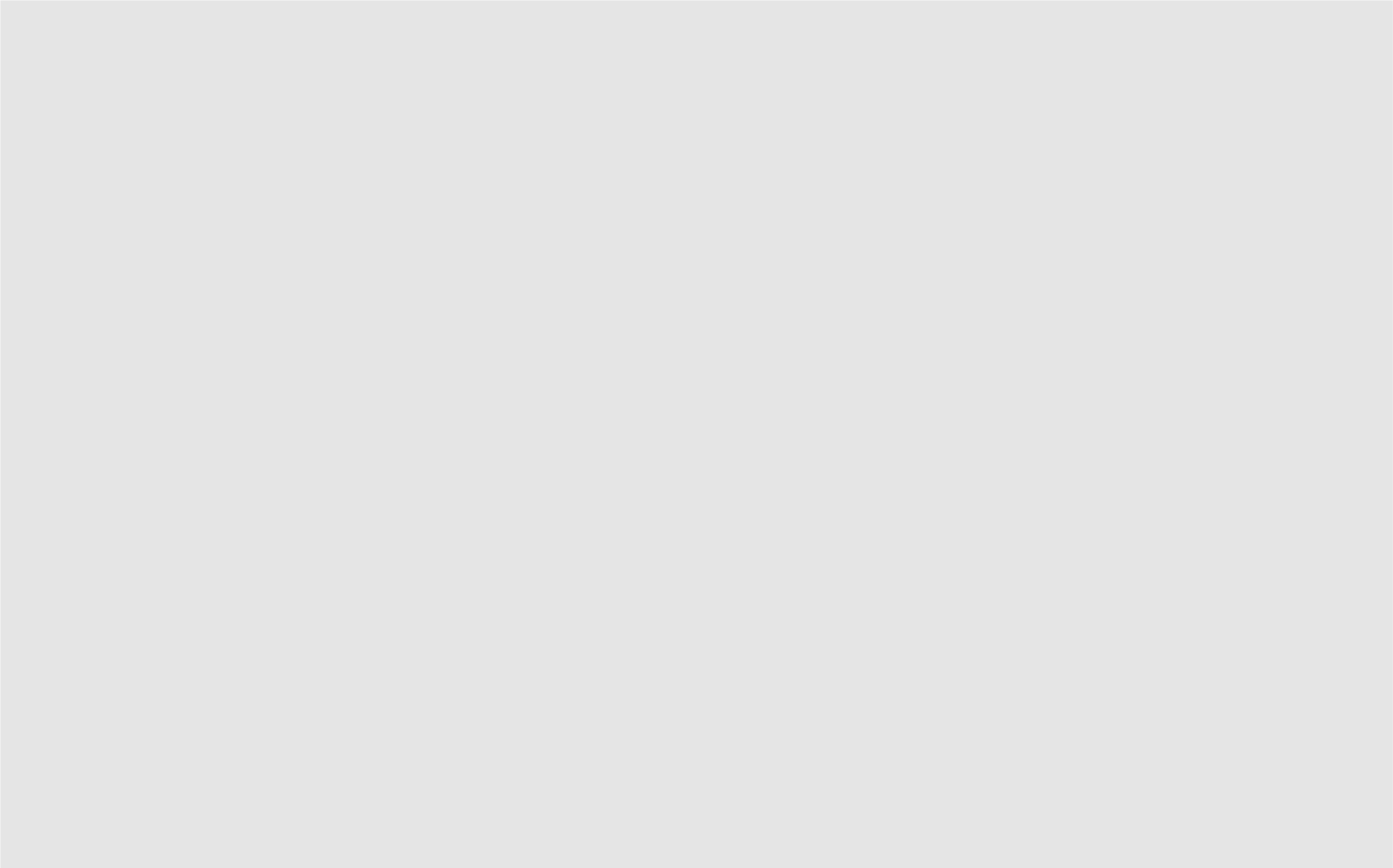


図 4-1 廃止措置終了後の再処理施設の配置図
(全施設管理区域を解除)

(3) 事業指定申請書



第 1. 1 - 1 図 核燃料サイクル工学研究所配置図

第 1. 1 - 2 図 再処理施設配置図

ガラス固化技術開発施設（TVF）における2次冷却水配管の エア抜き配管の補修等について

令和3年7月8日
再処理廃止措置技術開発センター

1. はじめに

ガラス固化技術開発施設（TVF）の2次冷却水配管のエア抜き配管の水漏れについて、金属パテの塗布により補修しているが、当該配管表面は全体的に腐食が進行している状況を踏まえ、ガラス固化処理を安定して進めるため、ガラス固化処理を開始するまでに当該配管を補修することを考えている。

この補修について、当該配管は冷却水配管に溶接で取り付けられていることから、許認可上の取扱いについて確認させていただきたい。

2. 2次冷却水設備の概要

TVFの2次冷却水設備(図-1)は、冷却塔(G83H10、H20)、冷却水ポンプ(G83P21、P22)、冷却器(G83H30、H40)から構成し、1次冷却水設備と熱交換する冷却器、非管理区域の冷水設備の冷凍機や圧縮空気設備の圧縮機に冷却水を供給する性能維持施設である。

2次系冷却水設備は、熱負荷に対し100%の冷却能力を有するシステムを2系統(A系統/B系統)設けており、通常時は50%の冷却能力で両系統とも運転している。保守や故障時には、もう一方のシステムを100%の冷却能力で運転し、両系統を繋ぐバイパスラインを通じて、一方の系統から両系統に冷却水を供給する。

エア抜き配管は、冷却水ポンプ(G83P21、P22)の吐出側の配管に溶接で取り付けしており、冷却水ポンプ(G83P21、P22)の分解保守時(頻度:1回/2年)に、配管内の水抜き及び水張りに使用するものである。

3. 事象の概要

令和3年7月2日(金)17時頃、純水貯槽(G85V20)の液位の記録から、純水の使用量が通常よりも多いことに気付き調査したところ、3日(土)11時頃、TVF開発棟屋上(非管理区域)にある2次冷却水設備(B系統:図-1、写真1)の冷却水ポンプ(G83P22)出口付近のエア抜き配管(枝管:15A)の表面が全面的に腐食しており、腐食箇所が生じたピンホールから水が漏れていることを確認した(写真2)。

漏れ箇所は、金属パテを塗布し、塗布表面を一部ゴムバンドにより固定する方法で補修した後(写真3)、運転状態で漏れがないことを確認した。

4. 補修の方法、工期

本事象は、注意報や警報の吹鳴はなく巡視点検で確認した事象であり、冷却水配管(200A)に付随する保守用のエア抜き配管(15A)における微小な漏えいであり、金属パテの塗布により補修している。この補修により運転の継続は可能と考えているが、エア抜き配管表面は全体的に腐食が進行している状況を踏まえ、ガラス固化処理を安定して進めるため、ガラス固化処理を開始するまでにエア抜き配管全体を補修したいと考えている。

また、併せて A 系統のエア抜き配管も同構造で設置していることから、点検の上、必要に応じて、同様の補修を実施する。

4.1 補修の方法(図-2)

エア抜き配管(枝管:15A)を吐出側の冷却水配管(母管:200A)との溶接箇所(接続箇所)で切り離し、切り離した箇所を中心に当て板(□150mm)を冷却水配管(母管:200A)に溶接して取付ける(当て板にエア抜き用の配管及びバルブを取付ける)。

施工は、製作及び施工管理規則に基づき、溶接士の認定資格等を確認の上、実施する。

なお、冷却水配管(母管:200A)に有意な腐食や減肉は確認されなかったことから母管は健全であると判断している。

4.2 工期

準備を含め、2日間程度の見込み。

5. 許認可上の取扱い

5.1 事業指定申請書、設工認申請書、廃止措置計画の記載について

(1) 事業指定申請書の記載について

事業指定申請書には冷却設備(流量や温度の監視)、冷却塔(約870,000 kcal/時/基)に係る記載があるが、冷却設備及び冷却塔の系統や構造に変更はない。

(2) 設工認申請書の記載について

設工認申請書には以下の通り記載している。

2次冷却水ポンプ(G83P12,P22)出口配管には、圧力下限注意灯(PW-)、流量指示下限警報(FIA-)を設ける。膨張水槽には、液面下限警報(LA-)を設ける。また、配管類として材質の記載があり、工程系統図にエア抜き配管の記載があるが、同材質、同構造のエア抜き配管に交換することから、交換後も機能は維持される。

(3) 廃止措置計画の記載について

廃止措置計画には性能維持施設として冷却塔が定められており、要求機能として「その他(冷却機能)」がある。これを維持管理するための点検項目として、「冷却塔出口の冷却水流量が 195 m³/H 以上であること」の記載があるが、同材質、同構造の配管の交換であり、交換後も機能は維持される。

なお、耐震評価については、変更認可申請 (R3 年 6 月 29 日) を行っているが、補修部材(当て板)の重量は耐震性に影響を及ぼすものではないことから、補修後も耐震性が損なわれる恐れはない。

5.2 許認可上の取扱い

エア抜き配管の補修は、材質や構造に変更はなく機能は維持され、耐震性が損なわれる恐れはないことから許認可手続きは不要と考えているが、エア抜き配管が設置されている 2 次冷却水設備は高放射性廃液の崩壊熱除去機能維持を担う系統であること、冷却水配管に溶接で取り付けられていることから、許認可上の取扱いについて確認させていただきたい。

以 上

A 系統冷却水ポンプ
(G83P12)

エア抜き配管

B 系統冷却水ポンプ
(G83P22)



吐出側配管 (母管)

写真1 2次冷却水設備 (B 系統) の冷却水ポンプや配管等

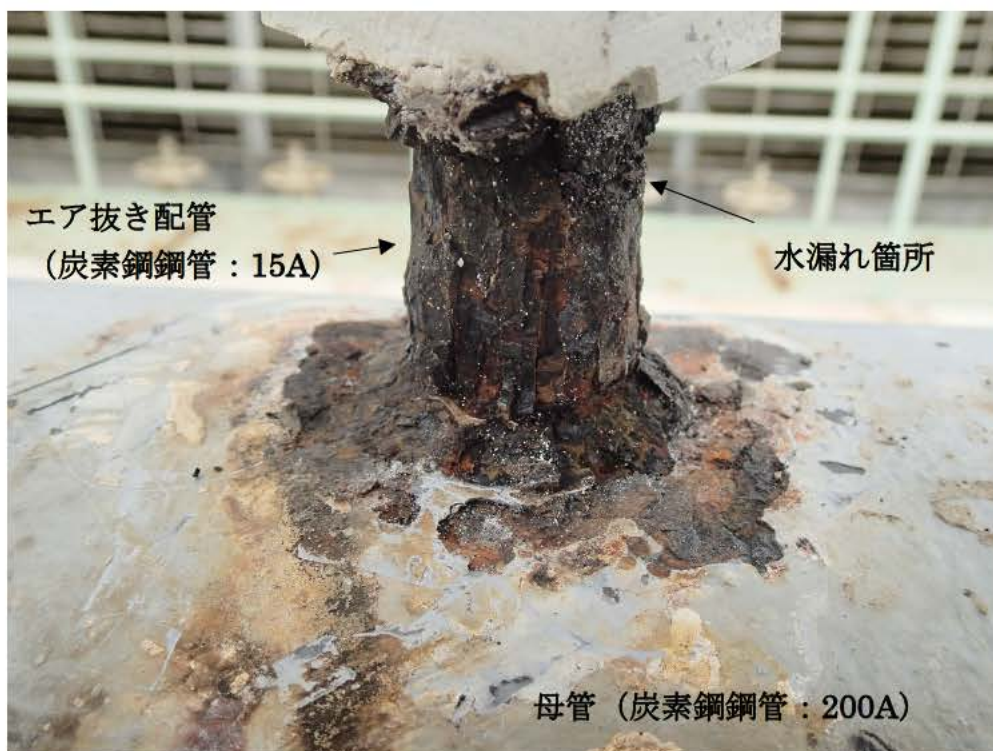


写真2 エア抜き配管根元部



写真3 金属パテ等による処置

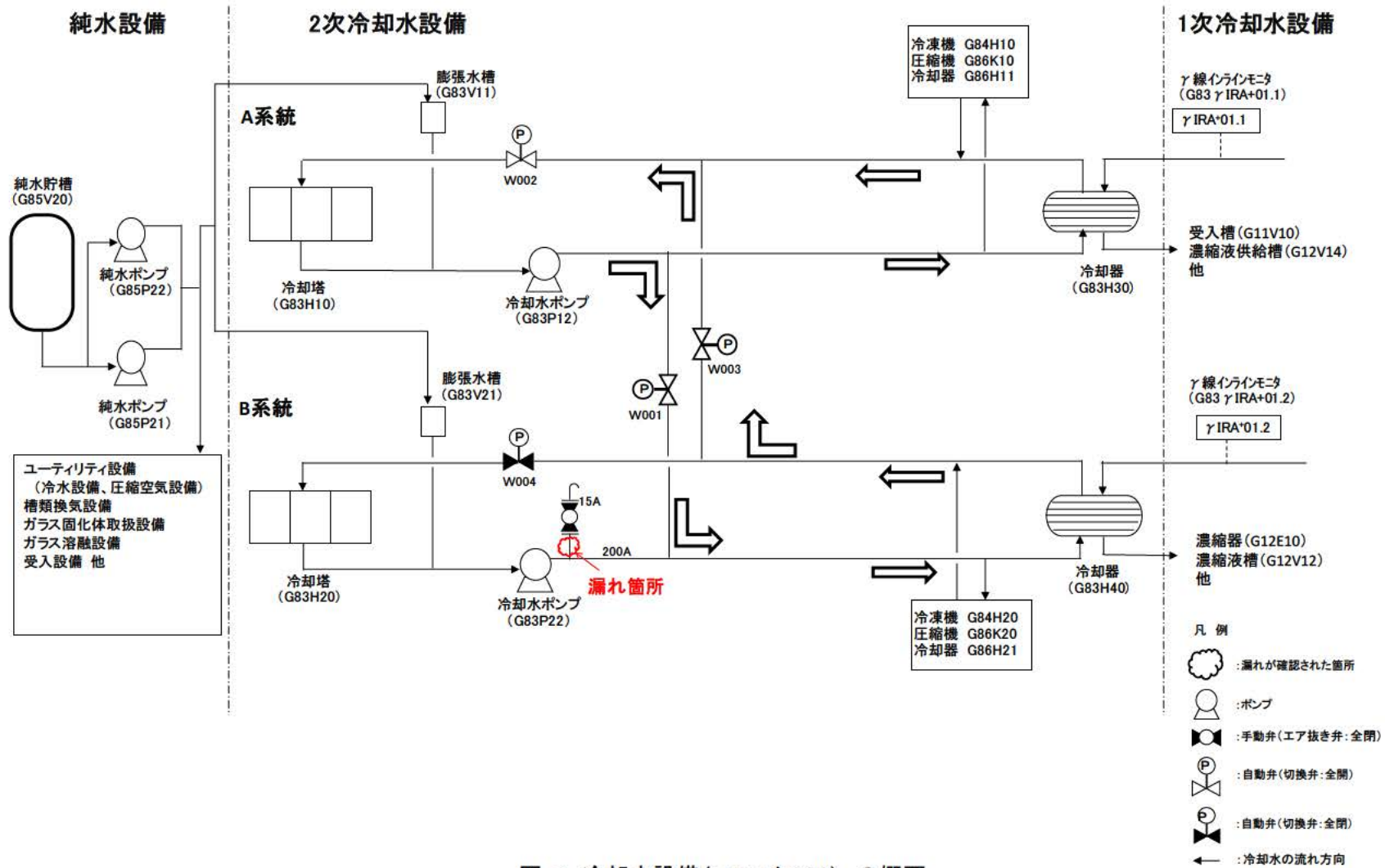


図-1 冷却水設備(ユニットG83)の概要

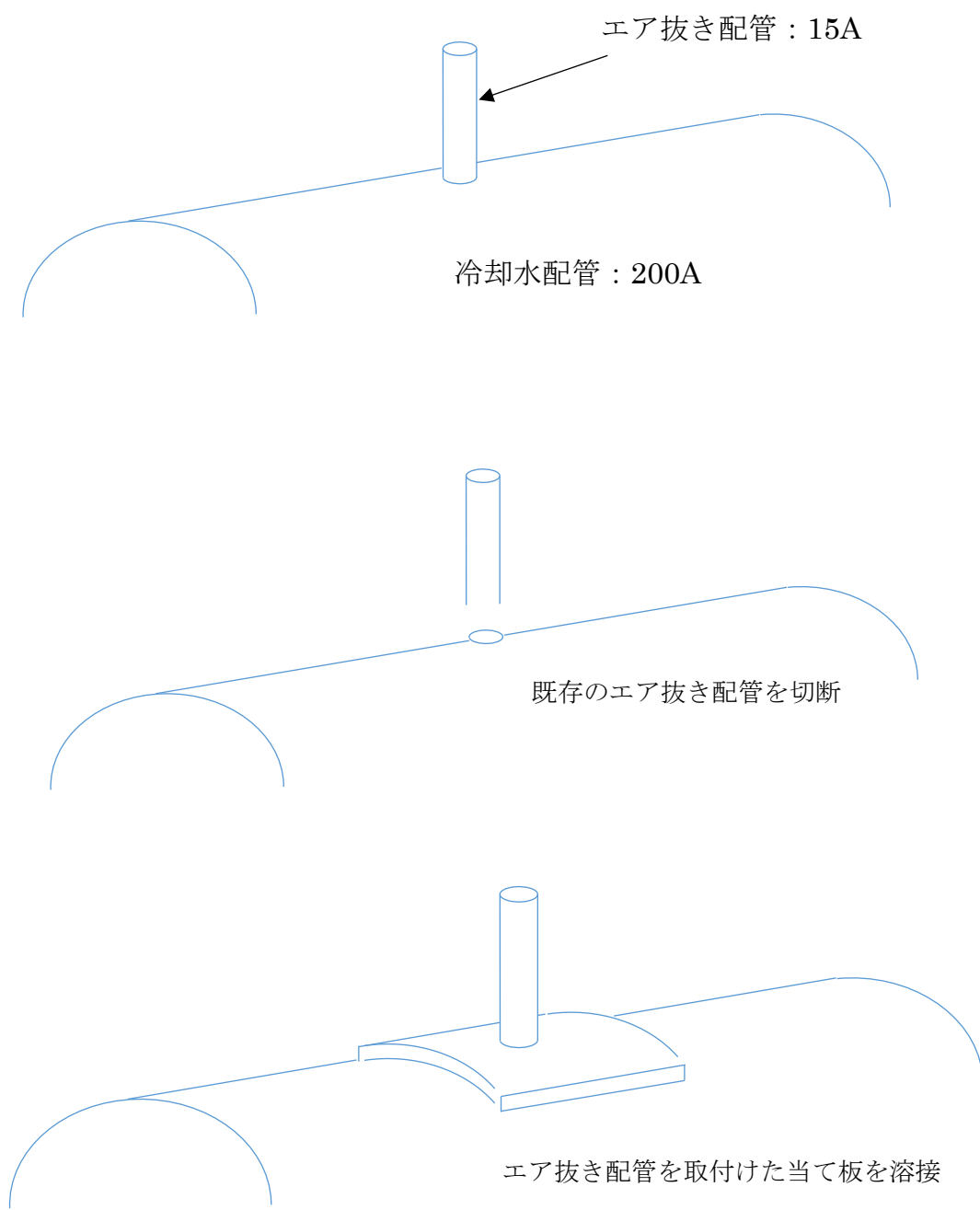


図-2 補修方法

東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)

令和3年7月8日
再処理廃止措置技術開発センター

面談項目 (下線:次回変更審査案件)		令和3年										
		7月					8月				9月	
		~2日	~9日	~16日	~23日	~30日	~6日	~13日	~20日	~27日	~3日	
廃止措置計画変更認可申請に係る事項												
安全対策	津波による 損傷の防止	○TVF浸水防止扉の耐震補強 設計及び工事の計画					▽29				▽24	
	事故対処	○事故対処設備の 保管場所の整備 (アクセスルートの検討)				▽20				▽19	▽24	
		○PCDF斜面補強 設計及び工事の計画 (機電設備)						▽5			▽24	
	内部火災	○代替措置の有効性		◆5			▽29				▽24	
		○HAW内部火災対策工事 設計及び工事の計画 ○TVF内部火災対策工事 設計及び工事の計画					▽29			▽19	▽24	
	溢水	○HAW溢水対策工事 設計及び工事の計画 ○TVF溢水対策工事 設計及び工事の計画								▽19	▽24	
○TVF溢水対策工事 設計及び工事の計画									▽19	▽24		
その他 /工事進捗			▽8	▽15						▽24		
LWTFの計画変更 セメント固化設備及び 硝酸根分解設備の設置	○実証プラント規模試験の実施と 硝酸根分解技術の再評価 ○セメント固化設備の技術的成立 性について(4/20面談資料の改 訂) ○実証規模プラント試験対象外と した根拠について	▼29	◆5							▽19		
	○LWTFにおける外部事象に関する 評価について					▽29						
	※H31.3.20申請の許認可の取り扱いによっては、面談項目及び実施時期を必要に応じて見直し。											
工程洗浄		▼29	◆5				▽29				▽2	
その他	○TVF保管能力増強に係る 一部補正 ○その他の設工認・報告事項											
廃止措置の状況												
ガラス固化処理の進捗状況		▼29	◆5	▽8	▽15						▽24	

▽:面談 ◇:監視チーム会合